



地域建設業の発展・振興のため 建設振興策に関する要望書の提出

11月9日に一般社団法人山形県建設業協会・西置賜建設業協会令和3年度建設振興策に関する要望書が提出されました。

要望書では公共事業予算の安定的な確保と切れ目のない計画的な発注、住宅品質確保促進法及び運用指針の徹底を図り、地域間格差を解消する全国一律の設計労務単価や実情に合った歩掛の見直しなど、地域の安全・安心の守り手として、会員企業が健全で安定した経営ができる環境整備について措置を講じる内容を盛り込んだ要望書が佐藤町長に手渡されました。



丸ト建設株式会社代表取締役村上栄一様（左）より佐藤町長（右）に要望書が手渡されました。



古典芸能を学ぶ機会に 白鷹中学校で芸術鑑賞教室を開催

11月9日に、白鷹中学校で古典芸能を学ぶ、芸術鑑賞教室が行われました。同教室はこれまで新型コロナウイルス感染拡大に伴い2度の延期となっていましたが、生徒が古典芸能の素晴らしさや面白さに触れる、貴重な機会としたいという思いから、ようやく開催にこぎ着けました。当日は落語芸術協会から落語家や音曲師の方々を訪れ、寄席で披露される落語や音曲、紙切りなどを行い、鑑賞した生徒たちは、日本古来の素晴らしい芸の数々に見入っている様子でした。



落語芸術協会の方々により寄席の解説も行われました。



町の交通事故防止につなげるため カーブミラーが贈呈されました

山形おきたま農業協同組合（若林英毅代表理事組合長）ならびに全国共済農業協同組合連合会山形県本部（折原敬一運営委員会会長）によるカーブミラー贈呈式が11月12日に行われました。

この日は丸川正博山形おきたま農業協同組合白鷹地区総括理事らが役場を訪れ、出合頭の交通事故防止に役立ててほしいと4基を寄贈していただきました。今後、町内の交差点などに設置する予定です。



丸川総括理事（右）より、横澤副町長（左）にカーブミラーが贈呈されました。



更生保護に多大なる尽力をいただきました 保護司と更生保護女性会員の7人が表彰

10月26日、長井市民文化会館にて「令和3年度山形県更生保護関係者顕彰式」が行われ、更生保護に尽力された7人が表彰されました。

白鷹町更生保護女性会の稲葉幹子さん（広野）は、町更生保護女性会の会長・顧問を歴任され、保護司と連携しながら「社会を明るくする運動」や独自事業である各小中学校での「あいさつ運動」などのボランティア活動に尽力され、日本更生保護女性連盟会長表彰を受賞されました。

受賞された皆さま、おめでとうございます。

◇表彰者一覧

日本更生保護女性連盟会長表彰 (更生保護女性会員)	稲葉幹子さん (広野)
東北地方更生保護女性連盟会長表彰 (更生保護女性会員)	新野京子さん (広野)
山形保護観察所長表彰 (保護司)	小関晃一さん (十王)
山形保護観察所長感謝状 (更生保護女性会員)	高木初子さん (山口)
	梅津ツヤ子さん (横田尻)
山形県保護司会連合会会長表彰 (保護司)	長谷部千晶さん (荒砥)
	稲葉久美子さん (高玉)



地域農業の発展・振興のため 農業農村振興施策に関する意見書を提出

11月2日に白鷹町農業委員会より、令和4年度白鷹町農業農村振興施策に関する意見書が提出されました。

意見書では、今年春に発生し果樹を中心に大きな被害をもたらした凍霜・降雪被害の支援や、新型コロナウイルス感染拡大により主食用米の消費が大きく減少しており、それに伴う米の過剰在庫の深刻化、米価の大幅な下落に対する支援、さらには近年急激な増加をみせる有害鳥獣対策支援などを盛り込んだ意見書が佐藤町長に手渡されました。



小林会長（左）より佐藤町長（右）に意見書が手渡されました。



桜の花で満開に 2021年度最上川さくら回廊事業を実施

この事業は、母なる川・最上川流域を桜並木でいっぱいにと山形新聞・山形放送の8大事業として毎年実施しているもので、2021年度の植栽地として白鷹町が選ばれ、11月6日に、特別養護老人ホーム白光園（旧白鷹西中学校跡地）で植樹会が開催されました。

当日は、旧白鷹西中学校の卒業生や教職員のみなさん、町内の家族連れなどの関係者が集まり、当時のことを思い出し、久しぶりの再会に笑顔を見せながら青空のもと植樹活動を行いました。



桜の木と共に子どもたちの健やかな成長を願いながら家族全員で植樹を行いました。